

令和3年度

学校評価報告書

(自己評価・学校関係者評価)

令和4年3月15日(火)

沖縄県立名護商工高等学校

目 次

一 令和3年度学校評価の目的及び実施方法

- 1 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 評価対象(学校評価実施計画全般)・・・・・・・・・・1
- 3 実施方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

二 令和3年度学校評価実施計画

- 1 評価の種別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 3 各評価の実施方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

三 学校評価（自己評価）

- 1 今年度の状況
 - (1)今年度の取り組み・学校行事等・・・・・・・・3
 - (2)学籍（在籍・異動・休学・退学等）状況・・・・5
 - (3)学業成績状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
 - (4)勤怠状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
 - (5)進路決定状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
 - (6)生徒指導の状況・・・・・・・・・・・・・・・・7
 - (7)長時間勤務状況・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 2 自己評価（アンケート結果考察）・・・・・・・・9

四 学校評価（学校関係者評価：自己評価に関する指摘事項）

- (1)学校生活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- (2)学習指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- (3)進路指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- (4)生活指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

（付録）学校評価に係る生徒・保護者・教職員アンケート結果

- (1)生徒アンケート結果
- (2)保護者アンケート結果
- (3)教職員アンケート結果
- (4)令和2年度県立学校学校評価(自己評価・関係者評価)

一 令和3年度学校評価の目的及び実施方法

1 目的

この要項は県立学校管理規則第63条、学校評価実施要項(平成14年3月26日県立学校教育課長決裁)及び本校学校評価実施計画に基づき、教育活動全般にわたって、総合的・客観的・具体的に評価し、上書きモードを明確にして教育目標を達成するために行う。

2 評価対象(学校評価実施計画全般)

教育活動全般(教育目標、教育計画、学習指導、校務分掌、生活指導、その他)のうち、学校が定めた当該年度の重点目標について評価項目を設定する。

3 実施方法

令和2年度沖縄県立名護商工高等学校評価は自己評価及び学校関係者評価を実施する。

- (1) 自己評価は教職員アンケートの集計結果及びその他の評価資料に基づき評価し、職員会議で審議する。また、教職員アンケートは生徒アンケート、保護者アンケート及び各部、学年・教科等会の反省会議資料等をふまえて、全職員に実施する。
- (2) 学校関係者評価は保護者、学校評議員等を学校関係者評価委員として選任し、自己評価及びその他の評価資料を学校評議員会において報告を行い評価する。

二 令和3年度学校評価実施計画

1 評価の種別

(1) 自己評価

教職員アンケート及びその他の評価資料に基づき評価する。

①教職員アンケートは以下の資料を参照し、全職員に実施する

- ・生徒アンケート
- ・保護者アンケート
- ・その他(学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等)の評価資料

②その他(学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等)の評価資料

(2) 学校関係者評価

自己評価及びその他の評価資料をもとに評価する。

2 日程

期 間	評価に関する業務
12月1日(水)～12月17日(金)	保護者、生徒アンケート依頼文配布
12月27日(月)～1月21日(金)	職員アンケート実施
2月1日(火)～2月28日(月)	アンケート集計・分析
3月9日(水)	PTA3役、学校評議員へ評価依頼(学校関係者評価)
3月15日(火)	学校評議員へ報告資料送付
3月17日(木)	県教育庁県立学校教育課へ報告(郵送、メール)

3月下旬から4月上旬	PTA評議員会へ報告 学校HP掲載・新年度職員会議にて報告
------------	----------------------------------

3 各評価の実施方法

(1) 自己評価

- ①重点取組事項（10項目）について、それぞれ評価項目（合計31項目）を設定し、職員アンケート及びその他（学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等）の評価資料に基づき評価を行う。
- ②評価基準を以下の4段階で行う。
A：ほぼ達成（8割以上）、B：概ね達成（6割以上）、C：変化の兆し（4割以上）
D：不十分（4割未満）
- ③自己評価項目内容（別紙No1～No3参照）
- ④教職員アンケートは生徒アンケート、保護者アンケート及びその他（学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等）の評価資料を参照し、目標達成状況を4段階で評価する。評価項目については自己評価項目と同様である。
 - ・生徒アンケートは、学校生活や学習指導及び進路指導等の7項目で、21の質問内容について5段階で満足度を問う。実施については、LHRまたは朝学習の時間等を用いてインターネットを利用して行う。質問内容については別紙No4を参照。
 - ・保護者アンケートは、学校生活や学習指導及び進路指導等の9項目で、26の質問内容について5段階で満足度を問う。回答については、インターネット及び紙媒体を併用し、学校ホームページや依頼文書で周知する。質問内容については別紙No5を参照。なお、紙媒体については、HR担任で回収し集計は学校評価委員会で行う。

(2) 学校関係者評価

- ①自己評価及びその他の評価資料等から重点取組事項（10項目）別に4段階で評価する。

(3) その他の評価資料

自己評価及び学校関係者評価で活用する「その他の評価資料」とは以下をいう。

- ①学籍状況
- ②学業成績状況
- ③勤怠状況
- ④進路状況
- ⑤生徒指導状況
- ⑥長時間勤務状況

三 学校評価（自己評価）

1 今年度の状況

(1) 今年度の取り組み・学校行事等

年月日	内 容

別紙に印刷

(2) 学籍（在籍・異動・休学・退学等）状況

7 学年学科別在籍（3月1日時点）

学年		1			2			3			在籍		
学科(コース)\\性別		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
機械システム		34	0	34	32	0	32	27	0	27	93	0	93
電建システム	電気技術	20	0	40	18	0	38	15	0	33	53	0	111
	建築技術	19	1		19	1		18	0		56	2	
総合情報		26	14	40	23	10	33	29	5	34	78	29	107
商業		2	31	33	5	20	25				7	51	58
商業	オフィスビジネス							4	13	26	4	13	26
	ビジネス情報							2	7		2	7	
地域産業		7	21	28							7	21	28
地域産業	ファイナンス							0	4	4	0	4	4
	観光				0	18	18	3	11	14	3	29	32
	地域創生				0	0	0				0	0	0
合計		108	67	175	97	49	146	98	40	138	303	156	459
退学者		0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
休学者		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
転出者		2	0	2	1	4	5	0	0	0	3	4	7
転入者		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1

イ 退学者数の推移(R3は3月1日時点)

年度	H30	R1	R2	R3
1年	1	1	0	0
2年	0	0	1	1
3年	0	0	0	0
合計	1	1	1	1
中退率	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%

ウ 休学者数の推移(R3は3月1日時点)

年度	H30	R1	R2	R3
1年	2	2	1	1
2年	1	2	1	0
3年	1	0	1	0
合計	4	4	3	1
割合	0.9%	0.9%	0.7%	0.2%
在籍(5/1)	465	427	427	466

※中退率は右表 5/1 時点の在籍により算出

(3) 学業成績状況

7 成績優秀者数の推移

年度	H30	R1	R2	R3
1年	25	39	53	43
2年	30	35	46	40
3年	31	31	29	34
合計	86	105	128	117

イ 各年度学年末単位保留者数の推移

年度	H30	R1	R2	R3
1年	20	15	18	23
2年	11	19	33	25
3年	21	28	30	26
合計	52	62	81	53

ウ 追試状況（2年生）

2年生	1回	2回	3回	4回
対象人数	11	9	7	7
(延べ)科目数	18	14	12	12
申込率	88.9%	64.3%	25.0%	91.7%
合格率	25.0%	22.2%	0.0%	18.2%

イ 追試状況（3年生）

3年生	1回	2回	3回	4回	5回
対象人数	11	11	9	9	25
(延べ)科目数	20	19	17	16	43
申込率	65.0%	84.2%	47.1%	62.5%	79.1%
合格率	7.7%	12.5%	12.5%	90.0%	88.2%

※3年生の第5回の追試は今年度の単位保留科目

(4) 勤怠状況 (学年末成績判定会議資料より)

7 皆出席者数の推移

年 度	H30	R1	R2	R3
1年	23	12	21	16
2年	19	18	21	17
3年	11	10	10	11
合計	53	40	52	44

イ 勤怠状況

年 度	H30	R1	R2	R3
欠席日数	3,937	3,687	2,419	2,415
欠課時数	3,839	4,215	6,514	6,495
SHR 遅刻回数	2,361	2,947	3,438	2,251

ウ 出席率の推移

年 度	H30	R1	R2	R3
1年	96.1	95.3	98.2	97.3
2年	95.2	96.0	96.0	97.0
3年	94.0	94.3	96.0	95.7

エ 出席不良者数(内、時数不足者数)

年 度	H30	R1	R2	R3
1年	2(0)	2(0)	2(0)	4(1)
2年	4(2)	10(1)	12(1)	2(0)
3年	3(1)	1(0)	19(1)	5(1)

※出席不良者とは無届欠席 18 日以上、SHR 遅刻 36 回以上、無届欠課 60 時間以上のうち、いずれかに該当する者

(5) 進路決定状況

7 学科別進路決定率の3カ年推移 (令和4年3月15日現在)

学科\年度	R1	R2	R3
機械システム科	100.0%	84.0%	96.2
電建システム科	89.5%	58.1%	90.9
総合情報科	100.0%	65.7%	85.3
商業科	100.0%	76.9%	96.2
地域産業科	96.7%	71.4%	83.3
全 体	96.5%	70.2%	90.5

イ 過去の進路状況 (令和4年3月15日現在)

年度	卒業 者数	就職		進学		就職 進学	未定 者数	決定率
		県内	県外	県内	県外			
R1	141	46	20	42	27	1	5	96.5%
R2	131	24	9	40	19	0	39	70.2%
R3	137	28	10	63	22	1	13	100%

(6) 生徒指導の状況

ア 懲戒指導件数（訓告以上；延べ人数）

年 度	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3 (※3/15現在)
懲戒指導数 (件)	5 3	4 0	1 9	5 2	1 4	3 9

イ 今年度の問題行動別指導状況 (※R4年3月15日時点)

学 年	1 年 生		2 年 生		3 年 生		小 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
懲戒の内容									
飲酒			1		7		8		8
飲酒同席			1				1		1
煙草・煙草所持	1		4				5		5
飲酒+無免許運転			1				1		1
無免許運転	1						1		1
車両通学			3				3		3
車両同乗			5				5		5
車両運転	1		4				5		5
暴力行為			1				1		1
窃盗		1			1	1	1	2	3
迷惑行為	2		3		1		6		6
深夜徘徊	(1)	(0)	(4)	(0)	(1)	(0)	(6)	(0)	(6)
小計	5	1	2 3	0	9	1	3 7	2	3 9
合計	6		2 3		1 0		3 9		

ウ 懲戒種類別の件数（延べ件数）

累計P	懲戒の種類別	1 年	2 年	3 年	合計
12	無 期 停 学	0	1	0	1
11	無 期 停 学	0	0	1	1
10	無 期 停 学	0	1	0	1
8	停学10日+特別10日	0	1	1	2
7	停学10日+特別5日	0	0	1	1
6	停学10日	0	3	1	4
4	停学5日+特別5日	2	2	1	5
3	停学5日	1	0	1	2
2	特別指導10日（訓告）	2	1 1	4	1 7
1	特別指導5日	1	1	0	3
	合 計	6	2 0	1 0	3 6

(7) 長時間勤務状況

ア 職員数

	校長	教頭	事務長	教諭	講師	養護教諭	実習助手	事務	司書	用務員	PTA会計	産業医	学校医	歯科医	薬剤師	A L T		警備員	舎監	その他	合計
男	1	2	—	27	4	—	6	1	1	1	—	1	1	1	1	1	—	1	1	—	50
女	—	—	1	23	5	1	4	3	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39
計	1	2	1	50	9	1	10	4	1	2	1	1	1	1	1	1		1	1		89

イ 通勤距離 (H30)

区 間	人数	割合%	累積割合%
70km 以上	5	6.9	6.9
60km 以上～69km 以下	8	11.1	18.1
50km 以上～59km 以下	10	13.9	31.9
40km 以上～49km 以下	12	16.7	48.6
30km 以上～39km 以下	6	8.3	56.9
20km 以上～29km 以下	1	1.4	58.3
10km 以上～19km 以下	4	5.6	63.9
0km 以上～ 9km 以下	26	36.1	100.0

ウ 月別時間外勤務時間平均

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
時間	20.48	20.47	11.53	15.53	4.18	13.28	21.25	21.2	20.7	11.95	12.15

エ 長時間勤務状況(4月～2月までの平均)

	人数	割合%	累積割合%
100H 以上			
90H～99H			
80H～89H			
70H～79H			
60H～69H			
50H～59H	1	1.5	1.5
40H～49H	4	5.9	7.4
30H～39H	3	4.4	11.8
20H～29H	13	19.1	30.9
20H 未満	47	69.1	100.0

(2) 自己評価（アンケート結果考察）

①生徒アンケート

設問1「学校は楽しい」への肯定的な回答が 59%、「どちらでもない」の回答が 26%、否定的な回答は 15%である。

設問1「学校は楽しい」、設問4「学習支援」、設問5「興味関心がもてる教え方」、設問9「進学就職講座の充実」、設問14「体罰やいじめ、暴力がない学校づくりの推進」、設問15「先生は生徒の悩み相談にのってくれる」をクロス集計し、「学校は楽しい」の問いに否定的な生徒の回答傾向を分析した(表1)。

表1 設問1で「不満である」または「あまり満足していない」の回答傾向

	1不満である%	2あまり満足していない%	3どちらでもない%	4ほぼ満足している%	5満足している%
設問3 学習支援	3	6	23	30	38
設問4 興味関心がもてる教え方	3	10	30	33	24
設問8 進学就職講座の充実	3	3	23	32	40
設問14 体罰やいじめ、暴力のない学校づくりの推進	3	4	20	28	45
設問15 先生は生徒の悩み相談にのってくれる	5	5	25	26	39

「不満である」「あまり満足していない」の合計は、「学習支援」9%、「興味関心がもてる授業」13%、「進学就職講座の充実」6%、「体罰やいじめ、暴力のない学校づくりの推進」7%、「先生は生徒の悩み相談にのってくれる」10%となっている。その中で、「興味関心がもてる授業」に関する不満が13%とほかの項目に比べて少し多い傾向にある。職員と情報共有をして、授業改善に取り組んでいきたい。

②保護者アンケート

設問8「学校は各種講座など、資格取得の取組が充実している」、設問13「勤怠や身なりなどの生活指導がきちんと行われている」、設問16「学校は体罰やいじめ、暴力がない学校づくりを推進している」の3項目で、「満足している、ほぼ満足している」が63%以上の高評価で、職員の日頃の地道な業務推進が認められて大変うれしく思った。その反面、設問18「部活動が盛んである」、設問19「学校行事は充実している」、設問20「生徒会活動が盛んである」の3項目で、「不満である、あまり満足していない」が66%程度あり、コロナ禍の影響による学校行事等の中止の影響が色濃く出ている。

③教職員アンケート

設問3「特別な支援が必要な生徒の発達を支えていくという視点を学校全体で共有し、指導や支援が組織的・継続的に行われている」、「教師は生徒の特性や発達上の課題をよく理解し、支援員との連携や関係部署との情報共有など学習指導の工夫を行っている」、設問13「進路相談・個別指導の充実や進路情報の収集・提供など進路指導が強化されている」の3項目で「満足している、ほぼ満足している」が85%前後の高評価で、職員の支援の必要な生徒たちに配慮していることが分かる。

四 学校関係者評価（自己評価に関する総括・指摘事項）

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止等の影響で、7月、12月、3月の3回の評議員会の全てを中止することとなった。第3回学校評議員会に関して評議員およびPTA役員から学校評価（自己評価）のアンケートを送、受取りを行った。

(1) 学校生活・運営

「学校重点目標について学校全体で共通理解され、達せに向けた取組がなされている」という評価項目に対して、「目標共有がなされていると職員は思っているが、生徒の肯定率が59%と低いのが気になる」

「進路相談・個別指導の充実や進路情報の収集・提供など進路活動が強化されている」「キャリア教育の充実により望ましい職業観・勤労観の育成に努めている」「学校は生徒・保護者がいつでも進路相談に行ける雰囲気である」という評価項目に対して、「保護者の満足度が53%というのが気になる」

「部活動の活性化を図り、豊かな人間形成に努めている」という評価項目に対して、「コロナ禍で致し方ない部分はあると思うが生徒、保護者の評価が低調である」との意見をいただいた。

(2) 学習指導

「補習や課外講座等による個に応じた指導を行い、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図っている」「主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行っている」「各種資格・検定の取得を奨励し、専門教育指導を図っている」という評価項目に対して、「個に応じた指導には課題があるのではないかと感じる。」「主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行っている」に関しては肯定率80%以上欲しいとの意見をいただいた。

(3) 進路指導

「学校は生徒・保護者がいつまでも進路相談に行ける雰囲気である」で、保護者の肯定率が53%というのが気になるという意見をいただいた。

(4) 生徒指導

「全体集会、講話、巡視、個別指導等を通して、基本的生活習慣の確立と心の教育の充実に努めている」で、生徒の満足率が65%と低調なのが気になるという意見をいただいた。